

**てっくい海鮮まつり開催
2年目のイベントにも関わらず**

7月16日、本町の主要魚種である『てっくい(ヒラメ)』をテーマにしたイベントがてっくい海鮮まつり実行委員会(市山浩実行委員長)主催のもと、汐吹漁港内で開催されました。

このイベントは、北海道でもトップクラスの水揚げを誇る本町のヒラメを、漁業者自身がイベントを企画PRし、他の海産物と合わせて、付加価値を高め販売機会を増加させることを目的に開催されています。

会場では、特大ヒラメの解体ショーや新鮮ヒラメの模擬競りなど、迫力満点でお得な催しが盛り沢山。このほかウニやアワビなど地元で水揚げされた魚介類も販売されたほか、浜のお母さん方によるツブ飯やホッケフライなどの浜料理も販売され、好評を博していました。

また、漁船の乗船体験やイカ釣り体験など、海ならではの催しが随所に見られ、晴れ渡る青空の下、汐の香りが心地いいイベントとなりました。



7月のイベントは文月祭

7月17日、上ノ国町物産センター連絡協議会(佐藤真治会長)主催による『文月祭』が道の駅もんじゅ前にて行われ、多数の来場者で賑わいました。

会場では、さくらんぼの種を飛ばして飛距離を競うゲームや、投票で決まる山と海の母さんの料理対決など、旬の特産品をテーマにしたイベントが行われました。

また、今年初開催となった「山の母さんVS浜の母さん」の母さんVS浜の母さんファッションショーでは、町内外から14組が集結し、もんじゅ前に設置されたお立ち台とレッドカーペットの上で、上ノ国をテーマにした様々なアピールが行われました。その頂点に輝いたのは、『昨日のジャガイモ掘りの恰好で来た』という森山和さん(大留在住)で、イベントを象徴するような山の母さんという出で立ちが印象的でした。



**函館マラソンで
本町出身者が初代女王に!**

6月26日、函館マラソンが開催され、本町大留地区出身の高浜香澄さん(旧姓佐藤)が、今年から新設されたフルマラソン女子の部において総合優勝を果たしました。高浜さんは、市民ランナーとして東京マラソンなど数々の大会で好成績をおさめており、初開催となるフルマラソンの部では『1位になりたい』という思いで練習に励んでいたそうです。

試合当日は『応援に来てくれた母や親戚、友達に格好いいところを見せよう!』という気持ちで走ったとのこと。力強い意気込みと共に冷静なペース配分で力走し、2時間48分48秒でゴールしました。

新幹線開業記念と銘打って生まれ変わった函館マラソン、その初代女王に輝いた高浜さんは、レース中の厳しい表情とは一転、多くの方々に見守られながら表彰台で朗らかな笑みを浮かべていました。



**商工会青年部創立50周年
節目のビアガーデン**

7月23日、上ノ国町商工会青年部(森祐介部長)主催による納涼ビアガーデンが、若狭組前噴水広場にて開催され、多くの人出で賑わいました。

会場には、焼き鳥と生ビールで乾杯する方々が溢れ、カミゴンかたこもち撒きや豪華景品のあたる大ビンゴ大会などが行われ、来場者の方々は商工会青年部の提供する夏の日を満喫した様子でした。創立50年という歴史ある上ノ国町商工会青年部ですが、第十七代目の現部長を務める森さんに話を伺うと、『今後もまちの活性化のために、こうした活動に力を入れていきたい』と、これまでの活動の歴史と共に、新たな歴史を作っていきたいという強い思いが滲んでいました。

